

事業名：障がいのある方が教える「ボッチャ教室」

団体名：社会福祉法人茶の花福祉会

連絡先：連絡者氏名 堀口 和美 TEL：080-5966-6293

メール：taiju.ie@chanohana-fukushi.or.jp

【事業の目的・ねらい】

- ・パラリンピック正式種目であるボッチャ競技を通じた地域交流・スポーツ参加の場を提供する。事業開催にあたり、障がいを持つ方が企画から参加することで、地域の中での役割を担っていく。障害者理解の推進。

【活動内容】

- ・地域の方々にパラリンピック正式種目であるボッチャ競技を知っていただくと共に地域交流・スポーツ参加の場としてボッチャ教室を開催する。
- ・障がいのある当事者が企画から関わり、当日スタッフとして役割を持って参加する。



【事業の成果】

- ・一般参加者の方で6つのチームに分かれリーグ戦を行い、後半2試合は、車椅子やランプ（竹や雨どいを利用）を使用し、当事者体験の要素を盛り込み実施。
- ・大樹の家入居者が企画から当日までの準備を行い、地域の中での役割を担うことが出来た。
- ・当日の司会進行、ルール説明は、リモート中継及び事前のビデオ撮りで実施しコロナ禍での開催を実現できた。
- ・30代から80代まで幅広い年齢層のボッチャ経験者、未経験者の方々にご参加いただき、同じチームで試合を行ったことで様々な交流が生まれた。

【事業の課題】

- ・8月、9月の教室が緊急事態宣言発令中で中止となったことに加え、コロナ禍での実施となり、「障がいのある方が教える」という部分がリモートでの間接的な方法になってしまった為、会場での交流、対戦を実現したい。

【今後の事業展望】

- ・小中学生を対象とした教室開催等、さらに幅広い年齢の方への働きかけ、ボッチャを通じた交流や障がい者理解促進、健康づくりに繋げていきたい。

【団体のPR】

- ・障がい者支援施設（生活介護59、入所55、短期入所5、相談支援事業、居宅介護）です。平成11年の開所以来年間を通して季節行事の開催や施設活動の中で、地域ボランティアさん、サークル、近隣小・中・高等学校・大学との交流を積極的に行ってきました。コロナ禍での制限が続きますが、地域との繋がりを広げていける様、活動・行事開催の工夫をしています。